



● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ウズベキスタン
2. 事業名	ウズベキスタン共和国タシケント州及びサマルカンド州果樹栽培技術向上事業
3. 事業の背景と必要性	ウズベキスタンでは、モモやリンゴなどの果樹栽培が行われているものの、栽培技術が向上していないため、高品質で安定した収穫量を得られていない。 福島県がフェルガナ州で行ってきた果樹栽培技術向上事業の成果と教訓を活かし、全国の拠点であるタシケント並びにサマルカンドにおいて果樹栽培技術向上を実施し、ウズベキスタン全土への波及が求められている。また、販売流通システムを改善させることで、優良品種の生産を農家の収入向上に結びつける必要がある。
4. プロジェクト目標	果樹（モモ・リンゴ）栽培農家の生計向上と地域経済発展に貢献する
5. 対象地域	タシケント州、サマルカンド州、フェルガナ州
6. 受益者層（人数規模）	本邦研修での来日研修員16人 ウズベキスタンでのセミナー参加者390人
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 1. モモ・リンゴの果樹栽培技術を移転し、タシケント並びにサマルカンドの栽培技術を向上させ、ウズベキスタン全土に波及させる 2. 販売流通システムの改善 <活動> 1.-1 果樹栽培研究所所員を対象にした本邦研修により果樹栽培技術の移転、農業機械の導入および販売流通の改善を促進させる 1.-2 専門家派遣により果樹栽培農家を対象としたセミナーを実施し、技術移転を行う 1.-3 現地にモデル果樹園を設定し、その成果を公開・普及させる 2.-1 果樹栽培研究所所員を対象にした本邦研修により販売流通の改善を促進させる 2.-2 優良品の販路を開拓する
8. 実施期間	2011年4月から2013年3月
9. 事業費概算額	25,330千円
10. 事業の実施体制	福島県ウズベキスタン文化経済交流協会、伊達市内の果樹農家、伊達市役所
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	福島県ウズベキスタン文化経済交流協会（福島県伊達市）
2. 対象国との関係、協力実績	福島県ウズベキスタン文化経済交流協会は、1979年以來ウズベキスタンとの交流を継続している。果樹栽培技術向上を目的としたJICA草の根技術支援事業を2005年より継続している。